

山口新聞

平成24年6月1日(金)

NO.8

農地・水・環境

守ろう地域の手に

⑧

地改良区を中心に、関係自治会、ボランティア団体で構成されている。

活動開始時から、地域の連携、環境の美化、保全に力を入れている。特にホタルの復活を願った活動は、地域の協力との連携により行っている。

ぐらゐの大きさになるまで飼育。例年、10月下旬に、地域の園児からお年寄りが一緒になり、翌年のホタルの乱舞に思いをはせて放流している。

その結果、激減していたホタルが増え始め、2009年からは「ほたる鑑賞の集い」と称したイベントを開催している。今年も幻想的な光景を期待し、6月9日(土)にイベントを予定している。

大坪地区は、岩国市最大の貯水量を保つ大坪ため池の下流域に広がる農地を有する、農村地域と新興住宅地が混在する地区である。

2006年の農地・水保全管理支払交付金に係る対策実験事業の取り組みを機に、「大坪水系保全隊」は組織された。母体の大坪土

卵をかえし、幼虫を15匹

大坪水系保全隊(岩国市)

ホタルを通じた地域交流

いる。

今後この事業を通じ、地域のコミュニケーションを図り、住みよい地域にしていきたいと考えている。

(代表、倉田正史)

—金曜日掲載—



①会員の皆さん

②ホタルの幼虫を放流する子どもたち

【メモ】代表 倉田正史
▽会員 79戸、土地改良区、自治会、ボランティア団体
▽設立 2006年4月1日
▽事務局 岩国市玖珂町1-167、倉田 0827・82・3914